

平成25年度第3回江別市経済審議会会議録（要旨）

日 時	平成25年12月19日（木） 14:25～16:05
場 所	江別市民会館 21号室
出席者（13）名	会 長/太田 清澄 副会長/中村 忠之 委 員/鴻野 徹、井上 誠司、大澤 由美子、伊藤 真理子、工藤 多希子、外村 真美、今村 琢磨、金田 敏雄、矢野 博之、中田 和孝、町村 均
事務局（9）名	経済部長、経済部次長、商工労働課長、農業振興課長、商工労働課主査、農業振興課係長3名、ほか1名
欠席者（4）名	委員/有倉 輝之、伏屋 渉、林 敏昭、森田 芳明
議 事	第3次江別市農業振興計画の策定について

会議録（要旨）

経済部長	開会の挨拶、 会議成立の報告
会長	ただいまから第3回経済審議会を開催します。 本日は審議事項の「第3次江別市農業振興計画の策定について」を議題とします。 事務局から説明をお願いします。
農業振興課長	資料の説明 ・計画案の修正点について ・前回以降の検討経過について ・計画の副題について
会長	只今の報告事項について、質問・意見などがありますか。 前回の審議会の意見が反映された表現かという点でも確認願います。
今村委員	副題「未来に引き継ぐ都市型農業の実現をめざして」とあるが、「実現」は実現するものであって「めざす」ものではないように思う。
農業振興課長	たしかにこの言葉が並列すると変になると思う。
中村委員	「都市型農業」の定義とは。また、そこに「江別」をつけることで何を訴えたいのか。
農業振興課長	第3次江別市農業振興計画（案）（以下 計画案）2ページ記載の定義（立地性・多様性・連携）を元としている。
町村委員	道央農協では「都市型農業」という表記はあえてせず、「都市近郊農業」としているのを留意いただきたい。
会長	「都市型」の定義の中に江別らしさが加わらないと「江別型の」とは言えないのでは。
井上委員	「都市農業」の明確な定義はないが、農林省の地域類型区分の「都市」に当たる地域がそれらを用いるケースが多いように感じる。 また、都市でも農業が盛んなことをアピールしたい時にも用いられることが多い。 江別も都市的地域に含まれるので都市農業という言葉を使うことが出来る。 「都市近郊農業」は幅広い概念で用いるケースが多い。
農業振興課長	上位計画である第6次江別市総合計画に「都市型農業の推進」とあり、第3次江別市農業振興計画はその言葉を用い、内容を補完、肉付けしたものであります。 そのため総合計画と合わせることが望ましいと思われる。
会長	上位計画が遡及するところは合わせる形になり、上位計画の関係で許される範囲であれば付加するというところでよろしいか（了）
矢野委員	この3項目（立地性・多様性・連携）は、「江別型」を表しているのか。

農業振興課長	はい。
井上委員	副題を札幌市と比較すると、言葉が違うだけでほぼ同様のことを示しており、二番煎じのように感じる。 そこへ「江別型の」をつけると更に類似してしまう点が気になる。
会長	それぞれの意見があると思いますが、スケジュールとしてはどうなっているのか。
農業振興課長	パブリックコメントにおいては副題を明記していないので、次回に副題の確定を含めた審議をして支障はない。
会長	頂いた意見をもとに事務局と相談して案をつくっていきます。 副題について案がありましたら、事務局へ連絡するようお願いします。
会長	計画案Ⅰ「農業を取り巻く環境と目指す姿」について意見・質問等がありますか。
中村委員	「えべつ」と「江別」の使い分けはしているのか。 例えば計画案5ページの「えべつ農業」など。
農業振興課長	上位計画である第6次江別市総合計画に合わせた部分もあるが、直接の関連がないところもある。
会長	都市開発や都市計画を語る時、ひらがなは従来のハードではなくシステム等のソフトを表す際にあえて用いることが多い。 そのため意味に差がないのなら統一し、あるならば差があることを明確にしてください。
経済部長	引用を除くと明確な意図があったわけではないので、意見が多いようであれば統一をしたい。
会長	計画案38～39ページの「重点的・集中的事業」とも関係してくるが、計画案7ページの図において、「えべつの将来を創る産業活性化」と基本的事業の4本の柱を並列的に示しているが、縦の矢印だけではなく、「えべつの将来を創る産業活性化」へ延びる横の矢印も必要なのではないか。
農業振興課長	基本的事業の4本が総合計画の中で未来戦略本体の柱となるものであり、その項目の中から重点的に行う事業が「えべつの将来を創る産業活性化」である。 そのため、並列ではない表記を含めて検討します。
会長	計画案Ⅱの1「農業経営の安定化」について意見をお願いします。 前は井上委員が農家戸数と集約化、どちらを重視するのかという指摘があり、今村委員からは耕地面積を増やすことが結果として重要であるという指摘がありました。 それを総じて「耕地面積を増やす」という目標を立てることではないかという話があったと思うのですが、今回の記載でよろしいか。
井上委員	前は農家戸数が減少する中で、大規模化する方法もあるし、集約化するという道もあるという旨の発言をしたつもり。 耕地面積は全国的に減少傾向にあり、増やすということも現実的ではないと思っている。 そのため、どれだけ農家戸数を維持しつつ、収益を増やしていくかという方向が重要であるという発言をしたと思う。
会長	この段階では計画案のような整理の仕方では異論はないということよろしいか。
井上委員	それに加えて前回発言したことは、年齢階層別に見て違いがあるということ。 特に後継者の有無については、年齢階層別に見たらどうかという提案をしたが、後半の資料編で考慮してもらえたと思う。

会長	他にご意見ありませんか。 計画案12、13ページにおいて、農地集積の数値目標はあるのか。 資料を見ると20haという数値が基準となるように思えるが。
農業振興課長	全般を通して方向性を示すもので、数値目標や成果指標などは設定していない。 農協とのやり取りの中で、計画案12ページの表1において、営農類型ごとの指標に 経営面積でいくらの収益があるのか表示するという指摘もあったので、次回までには修正の上提示したいと思う。
会長	前回、6次産業化について伏屋委員が銀行の支援ファンドがあると発言していた。 産官学連携に「金」が加わった産官学金の体制についての必要性を盛り込みたい。
農業振興課長	計画案21ページの「国等の6次産業化支援制度や」という広義の記述で反映した。
会長	直接的に表現してみてもは。
井上委員	強調しすぎると、後述の農協との連携のバランスが難しくなる。 農協との関係も意識しつつ、慎重な表現をしたほうが良いかと思われる。
会長	多面的な配慮が必要ということですね。
農業振興課長	項目としては計画案21ページ「6次産業化・販路拡大の支援」の部分で表現を検討する ということによろしいか。(丁)
会長	次に計画案Ⅱの2「農畜産物の高付加価値化」について意見をお願いします。 「目に見えるかたちの6次産業化」という意見を通してこの形になったのですね。
中村委員	ネット販売をしている事例はあるのか。
農業振興課長	えべつモール等で販売しているところもある。
中村委員	6次産業化というが、加工で止まっているように感じる。
外村委員	計画案24、25ページの「ブランド定着支援」において、ブランドに対する重要性は 伝わるが具体的な今後の方向性や構想が読み取れない。
会長	自身も以前「当市の主要なブランド品は2つか」という問いをしたが、誰が責任を 持って「江別ブランド」を決めるのか。 その点も踏まえた指摘だと思います。
農業振興課長	ハルユタカやえぞ但馬牛以外にも、ブロッコリーやレタス、乳製品や大豆など、年に1 項目ずつピックアップしてPRを強化していきたい。 ブランドについて項目立てをするのは難しい。表現も含めて適切なものがあれば修正を 検討する。
町村委員	商工会議所の活動で、江別の食関連企業と江別の農産品について、1つのコンセプトを 切り口に江別の食を取り上げようとしている。 江別の売り込み方として、特定の産品にフォーカスするのではなく、食育などのコンセ プトによる全体的な取組みを盛り込めないだろうか。
会長	町村委員が述べたプロダクトブランドとコンセプトブランド、どちらの方式もあるが、 私個人としては後者の方がいいと思う。 そうすると計画案24、25ページは矛盾しないと思う。
会長	他に質問はありますか。(なし)

会長	計画案Ⅱの3「次代へ引き継ぐ農村環境づくり」において質問意見はありますか。計画案31ページ「(5)農村景観・環境の整備」において自然に優しい工法の具体的なものがあると良い。それに加えて、篠津フットパスの事例を踏まえて書いて欲しい。(了)
会長	他に質問はありますか。(なし)
会長	計画案Ⅱの4「地産地消の推進」の部分で質問や意見等ありますか。
井上委員	こここそ「都市」の概念が必要だと思う。一般論でまとめられているが、直売所やアクセスの良さなど、地域性をアピールする方が良い。
会長	グリーンツーリズムのなかで、都市部の江別市民を農村部に呼び込むという記述なのか、首都圏から江別へ人を呼び込むという記述なのか、呼び込む対象がはっきりしない。ターゲットを地元である江別の都市部の人にする。それから段階的に拡大するほうが良いのでは。
農業振興課長	意見を元に検討します。
中村委員	計画案32ページの「都市住民と農村住民の交流機会」という記述は、農村住民の対象が誤解されかねない。
農業振興課長	紛らわしいので修正します。
会長	計画案Ⅲ「重点的・集中的事業」について審議願います。重点的・集中的事業については先に審議した6次産業化とグリーン・ツーリズムと重なるということですね。先述の計画案7ページの図において、「農畜産物の高付加価値化」の中の6次産業化、及び「地産地消の推進」の中のグリーン・ツーリズムを重点事業として「えべつの将来を創る産業活性化」にそのままスライドされている。そのため並列に明記するのではなく、基本的事業から引き出し、かつ上位計画である「えべつ未来戦略」としてその2つを強化するという図式にするべきなのではと思った。
農業振興課長	項目としては4本の基本的事業から抜き出す形になるので、重点的・集中的に推進する事業として位置付けるということではよろしいか。(了)
会長	そうした位置づけにすると図面そのものが変わってくると思うので、その点を考慮して修正案を提示していただくということではよろしいか。(了)
会長	計画案Ⅳ「資料編」の審議に入ります。クロス集計をしているものはどれですか。
農業振興課長	計画案41、42、43ページなど、クロス集計を計10数点追加しました。
会長	全体を通して意見などありますか。
井上委員	地産地消、高付加価値化など、既に取り組んでいることこれから取り組むことが並列的に書かれている。もっとやっていることをアピールすべき。更に既にやっていることは目標値のハードルを上げてやっていくことを書いたほうが良い。
井上委員	また、江別は「連携」が他市より先駆的であり、副題のキーワードになるのではと思った。「連携」にその他のものを組み合わせながら副題を作っていくと良い。
会長	いただいた意見を元に私と事務局で素案を作っていきます。
会長	その他の案内をお願いします。
農業振興課長	次回審議会の日程確認
会長	以上で第3回江別市経済審議会を終了します。